

自由記述欄に寄せられたご意見に園としての考え（反省・説明・理解・お願い等）をまとめましたので、ご一読願います。

（こども園つみき）No.1

部門	自由記載内容（一部要約）	自由記載内容に対する検討内容および回答
運営全般	<ul style="list-style-type: none"> • いつもありがとうございます。 • コロナ禍の中、感染予防に努めながらの業務大変だと思います。安心して子供を預けられることに感謝しています。 • 先生方のお陰で私たちの生活が成り立っています。本当に感謝しています。先生方の働きやすい環境、長く働いて頂ける環境など整えて頂いてみんなが毎日楽しく過ごせることを期待しています。 • 玄関が子どもたちの外遊びのため土だらけで汚れている時が多いのがとても目立ち気になります。気が付いたら先生たちが掃除するなど対処するのはいかがでしょうか？ 雪が降ると玄関（フローリングのところ）先が、ぬれている事が多く、靴下がぬれてしまいます。モップやペーパータオルなどすぐふけるものがあると保護者も気づいたら拭くのではないのでしょうか。 • このような状況の中、行事をはじめ園の運営について考えていくのはとても大変なことだと思います。おかげさまで子どもは毎日楽しく通うことができているありがたく思っています。遊び中心の保育になったことでのびのびしているな—と思いますが、仕方のない事かと思いますが、園内の床（廊下）に砂がたくさんあって（朝夕問わず）汚れていることが目立つと感じています。送り迎えの際に短時間ではありますがザラザラした床が不快に感じることもあるので。 • 先生が自分の子どもを預けている場合、先生は役員をやらないのですか？ • 園庭でのボール遊びについて、未満児も同じく午後から遊ぶのにぶつかったりしたら危なくないのですか？車も止めてあるしボールが車にぶつかった場合はどのようにしようと考えていますか？警察をきちんと呼んで処理して構いませんか？ • 鬼ごっこで「エッタ」と言って遊んでいる姿が見られますが、「エッタ」という言葉は昔の「えた・非人」という身分差別用語から来ていると知り、自分の子どもには使ってほしくない言葉です。もちろん子供たちは意味もなく楽しい言葉として使っていると思うのですが・・・鬼ごっこは「エッタ」ではなく「タッチ」でよいのではないかと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> • 職員へのお気遣いありがとうございます。これからも子どもたちがのびのびと楽しく園生活を送れるよう職員一同努めてまいります。 • 具体的な改善案を提示していただきありがとうございます。現在は玄関にほうきと土を入れるバケツを置いています。今後は雪遊びに備えてモップやペーパータオルを置くことも検討します。また次年度は床拭きモップのモップ交換回数を増やすよう要望する予定です。 • 職員が役員をやらないという決まり（規約）はありません。過去に職員の夫が役員をした例があるそうです。職員が役員になった場合、運動会や発表会、こぐまクラブの活動の際には担任や職員としての業務がありますので、他の役員に負担をかけることとなります。このような事情をご理解いただいたうえで役員を選任をお願いいたします。 • 南園庭で未満児と以上児が混合で遊ぶ時などにご指摘の通りの状態になることがありました。今後は危なくないボール遊びの仕方など、子どもたちと話し合って改善します。 なお、園の管理下の事故は基本的に園の責任ですが、事情によっては子どもしたことでも民事上の賠償責任を負うこともあるそうです。事情を聞いたうえで納得がいかなければしかるべき処置をしていただいても構いません。 • 子どもから聞いて調べましたらご指摘の通り一部のクラスの子どもたちが「エッタ」という言葉を使っていました。意味も分からず差別用語という自覚もなく使っていたようです。「エッタ」の意味を知らなかった職員も多くこれまで気づかずにいたことを反省しています。子どもたちには改めて指導します。

<p>運営全般</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一度スタッフ、役場のみんなで「こども園とは」を話し合った方がいいと思います。今のままでは「こども園とは」言えないと思います。こども園は幼稚園と保育園の機能を持っているはず。今は「幼稚園」の部分が少し弱いと感じます。具体的には園としてどのような子どもを目指しているのかが、不明確であり、活動の目的も曖昧です。そのあたりを整えて伝えていくこと実施していくことが大切ではないかと感じています。 外遊びで服やくつが真っ黒になるのはあきらめました。でも、帰りに靴を履かせようとする中、靴の中に土がどっさりはいって外に捨てに行きたいが、子どもから目を離すわけにもいかないので、玄関に土を捨てられるバケツか何かを置いてもらえるとありがたいです。せっかくきれいに掃除していただいているのに玄関が土だらけで申し訳なくなります。 お外遊びに関しても、やはり泥遊びをしている所は汚れてもよい服に着替えてから遊ぶのが基本でそのまま遊ぶことはめずらしいようです。 おむつの残りが少ないという連絡を月曜や火曜に言われても町外までおむつを買いにいけません。できれば週末に連絡してほしい。町内におむつ売っているのですか？ 子ども同士の暴力（以上児）は今の指導だと甘いと思います。自主性を育むという言葉だけで子ども達に任せきりにするのは職務怠慢だと思います。自主性も大切だと思いますが、モラルやマナー、団体行動を身に着けることも大事だと思います。 今日の出来事、明日の予定等、前みたいにホワイトボードに書いてあると助かります。子どもとの会話のきっかけにもなりますし、着せる服もその日の予定に合わせて選べます。（外遊び、室内遊びで変わります。） エプロン、スプーン、フォーク、上履き等、いつからいつまで必要なか不必要になるのか予め知っておきたいです。スプーン、フォークは園で用意していたのを使用となっていたのですが、再び変更になるのはなぜなのでしょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 認定こども園には「幼稚園型」「保育所型」「幼保連携型」「地方裁量型」4つのタイプがあり、本園は「保育所型認定こども園」です。「幼稚園」や「幼保連携型認定こども園」は文科省が定めた「幼稚園教育要領」によって運営される学校ですが、「保育所型認定こども園」は、厚生労働省が定めた「保育所保育指針」に基づいて計画し運営される社会福祉施設です。本園を含めて道内全ての「保育所型認定こども園」は社会福祉施設として管轄する道振興局から定期的に監査を受けていますが、本園が保育計画や内容について指摘を受けたことはありません。「幼稚園」の部分が弱いというご指摘ですが、保育所型認定こども園の持つ幼稚園機能というのは、両親が就労していない子どもでも預かることができる機能です。保育・教育内容まで幼稚園と同じにすることを求められているわけではありません。なお、今回の改訂では保育所も幼稚園も同じ幼児教育施設として共通する「幼児期の終わりまで育ってほしい姿」（10の姿）が示され、保育所、こども園、幼稚園、それぞれ方法は違いますが、どの施設で育てられても目標とする姿は同じです。保育所保育指針改訂から本園でもこれまでの活動の見直しをはかり、小さい子供は決められた教材ではなく、身近な環境にあるもの、ひと、ことへの出会いを通して、それらに積極的に関わることを通して意味のある経験をするのだという原則を大事にしながら、これからも改善に取り組んでいきたいと思っています。 具体的な提案ありがとうございます。バケツは用意したいと思います。服の汚れや玄関の汚れ対策として、外遊び専用の服の用意や汚れた服の着替えの仕方等いくつかの改善案を検討中です。決まりましたらお知らせしますので改めてご協力をお願いいたします。 前日に予告するようにしますので、汚れても構わない服や上着で登園したり、泥遊び専用の服を用意していただいたりするなど、いくつかの選択肢の中から保護者が選べるようにしたいと思っています。 ご指摘の点を注意して早めの対応を心掛けたいと思います。おむつは保護者がお子さんのストックの量を見て自主的に補充していただいても構いません。早めの対応をお願いいたします。なお、おむつは町内でも「くすりのウエダ」や「農協」で販売しているそうです。 子どもの気持ちには寄り添うことを大事にしながら、暴力的な行動には妥協せず指導していきます。 ご意見を踏まえて明日の予定なども書くようにします。 子どものために良いと思うことは年度の途中でも変更することがあります。変更の際は必ず理由を説明して理解を得るようにしていますが、説明が不十分と思われる場合は遠慮なく聞いてください。
-------------	--	---

<p>運営全般</p>	<ul style="list-style-type: none"> 夏に準備した水遊びパンツも使うことなく行き場がなくなったので寄付でも良いので使ってもらえると良いのですが。 園全体で様々な新しい事に取り組んでいることは子どもにとって良いことをしようとの思いからとのことは納得できますし、とてもうれしく思っています。先生方の負担も大きいと思しますので日々の日常に感謝しています。しかし、朝、子どもが大きな声であいさつしても先生方はお話しをしていたからか、あいさつを返してもらえない場面もよく見受けられます。 手作りしなくてはならないものも増えて、保護者の負担軽減のため様々なイベントがなくなる中、日常の負担は増えるのだなーとってしまいました。 連絡ノートがなくなり不安に思っていました、園の様子を伝えようと色々と工夫されているのを見てわかりやすく感じています。 いつも子どもたちにとっていい環境を整えてくださりありがとうございます。あらたまってなかなか言えませんが、毎日とても感謝しています。これからもよろしくお願いします。 コロナ対策で大変な中保育を続けていただき本当にありがとうございます。協力できる所は協力いたしますので子どもたちが安心して過ごせる、預けられる保育園、幼稚園、こども園であってほしいと願っています。 お友達同士の関わり合いの中、手が出てしまうのはどうしても防ぎようのないのもわかりますが、先生方の対応も「いつものこと」で済まされているのを悲しく思います。なぜだめなのか、どういう気持ちになるのか(たたいた方もたたかれた方も)の理解ができる声掛けを全体で、あの先生はお話するが、この先生はお話しないとバラバラの対応は避けていただけたら嬉しく思います。もし、自分の子がそういう態度でうまく伝わらない場合も時間を空けずにお話をしたいので、その日のうちに知ることができれば嬉しいです。個人懇談よりも毎日の様子が直ぐに分かった連絡ノートの方がありがたかったです。日々の日常がうまく理解できていないのに個人懇談をしていただいても何を聞いて良いのかわかりませんでした。日常を聞くための個人懇談で子どもが今のように接したらもっと成長できるのかを聞くことができませんでした。 南園庭の整備お疲れ様です。これからの変化が楽しみです。ワークショップに参加したいと思いますが、休日でも子どもを預ける場所がないので子どもと一緒に参加できるといいなと思います。 朝の園内の温度が低すぎませんか？もう少し暖かくしてほしいです。遊びに夢中になると寒いのも気にしなくなる子が多いとおもいますが、感染症対策のためにもお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 寄付していただいた際には、園で有効に使わせていただきます。 時間差で出勤していますので、先に来ていた職員との打ち合わせ等で気づかない場合があったかもしれません。不快な思いをさせてしまい大変申し訳ありません。今後はそのようなことがないようにします。 園でできる保護者の負担軽減は園の方針として今後も続けていきます。今後様々なお願いをすることもあると思いますが、ぜひ、子どもが喜ぶ姿を思い浮かべながらプラス思考でご協力をお願いいたします。 園の取り組みを肯定的に評価していただきありがとうございますご逢います。より多くの方々に同じように感じていただけるよう今後も努力してまいります。 コロナ禍で学校が休みになっても働く親のための施設である本園は、よほどのことが無い限り休みにはなりません。今後も子どもたちが安心して過ごせる、預けられるこども園を目指して努力していきます。 「子どもの気持ちには寄り添うが、行動は容認しない」を方針としています。また、子どもには「自分がされて嫌なことはしない」が指導の基本ですが、ご指摘の通り職員によって対応が異なることがあることがあり、私たちも重大な課題と捉えています。この課題を解決するために職員研修等を実施して共通理解を図るようにしています。 以上児の連絡ノートをやめた理由の一つは親子のコミュニケーションを深め子どもの言語能力の向上をはかりたいからです。自分の子どものことなのに他人から教えてもらわなければ何もわからない、わからないから何もできないということがないようにしておきたいものです。まず子どもが自分で話したくなる親子関係を築き、聞いてわからないことは担任や他の保護者にも聞いて理解を深めるなど、子どもの発達段階に応じて親の対応も変えていく必要があるのではないのでしょうか。 今後の園庭づくりの取り組みの中で子ども一緒に参加できるワークショップも計画中です。 先日からタイマーや温度設定などを調整して運用中です。今後も気温の変化に合わせて調整していきます。
-------------	--	---

保育士不足	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士不足が言われていますが、保育士を減らさない、増やすためどのような対策を取っていますか。 ・先生が足りていなさすぎる。国の最低基準の人数では最低の保育しかできない。 懇談会で保護者から色々な意味や困りごとが出てスタッフがい足りないから解決できないというところに行きついてしまう。先生を増やすために募集をかけるだけでなく他にも工夫しなければならないと思う。 ・国で定められている「保育士の配置基準」は守られていると思いますが、各クラスの園児の様子などに応じて先生を増やしてほしいです。先生の目が行き届いていないのでは・・・と思う時があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年保育士雇用のための必要な予算は確保されています。募集については現在も役場担当が様々な手段で広く募集をかけています。また、雇用形態も期限付きの正職採用や待遇面では嘱託や臨時職員という形態がなくなり会計年度職員としてフルタイム、パートタイム採用となり改善も図られています。町では新卒者の採用を積極的に進めていきたいと考えていますが、大学からの情報では新卒者のほとんどが都市部で就職することを希望しており、待遇改善だけでは解決できないのが現状です。園は将来の保育士確保のため地元出身の学生の保育実習はすべて受け入れ、保育士となって地元に戻って仕事をしてもらえるよう最大限の協力をしています。
運動会 発表会	<ul style="list-style-type: none"> ・今年から運動会に参加できるのではと楽しみにしていたのですが、残念でした来年こそはと期待しています。 ・運動会はクラス毎で少し寂しかったですが、感染対策をして開催してくださってありがたかったです。 ・運動会、本人も楽しみにしていたので短い時間でも実施できて良かったです。ただ、未満児さんもホールでいいので、小さい運動会、親子レクがあった方がいいのではと思います。大人の1年は変化なしですが、子供の成長は1年で大きく変わるものです。今しか見られない成長する姿を見たいです。 ・コロナ禍の中、運動会や発表会を対策をした上で行っていただけたことは、とても感謝しています。毎年子どもの成長を感じるイベントなので楽しみにしています。ありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会の実施に「とてもよかった」「よかった」と答えた方が93%でした。保護者の皆様のご協力を得て無事実施できたことを嬉しく思います。運動会、発表会は園の活動の発表の場として保護者も楽しみにしている行事の一つですが、子どもの命を守り安全を確保することが最優先です。今後もコロナ禍の中で行う様々な行事は前例にとらわれず新しい生活様式に合わせて実施しなければならないと思います。また、状況によっては中止という選択肢もあることをご理解いただきたいと思います。 ・先日うさぎ組は日ごろの活動をDVDに収録して、お迎えにきた保護者に見ていただきました。
ランチルーム 給食	<ul style="list-style-type: none"> ・ランチルーム等で自主性を育む事を目的にしているようですが、小学校に入り時間も決められて食べなければいけないのに本当に必要なのでしょうか？「いただきます」「ごちそうさま」等あいさつができない状況でランチルームを始めたのは早すぎたのではないのでしょうか、椅子、机、先生が足りていないならそちらを先に解決すべきだと思います。朝の会、帰りの会のあいさつも小学校、その後の生活においてとても大切だと思うのですが、何故なくなったのでしょうか。 ・給食についてですが、年長さんだけでも一緒に(全員)いただきます等はやったほうが良いと思います。学校生活のことも考えて、きりん組さんは園生活を過ごしたらいいと思います。学校に入学した時に子どもたちが困ると思います。未満児の子どもが昼寝をするのも(となりで)不思議です。音やにおいて寝つけない子どもさんはつらいと思うし、先生方も(寝かしつける)大変だと思います。 ・日々の給食の内容はわかりますが、どういう味付けで食べているのかとても気になり興味があります。(園では食べるようですが家ではあまり…という声があります。)試食できる日があれば良いのになあと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校が一斉給食なので「いただきます」「ごちそうさま」を一緒にした方がよいと考えている方も多いと思います。園では0歳から個別に食べていますので、準備のできた子から自分で「いただきます」をして食べるよう指導しています。昨年園がランチルーム形式に変えたことで小学校での生活に支障があったかを小学校に問い合わせたところ、入学直後1週間ぐらいは戸惑うことありましたが、園と学校との違いを理解してからその後は問題ありませんということでした。また、小学校は園がランチルーム形式を取り入れている理由も理解しています。今後も子ども園と小学校との違いを前提にした指導を入学時からするので問題はないということでした。ちなみに小学校入学後は9年間も一斉給食の生活を送ることになります。ランチルーム形式にも課題はありますが、以前は一斉給食のために11時から準備に入り終了まで約2時間も費やしていました。1号認定の子どもが在園している約4時間の内約半分が給食のための時間になっていたことを考えると、たとえ職員に負担がかかっても子どもたちの遊ぶ時間を少しでも多く確保できる現行の方式の方がよいと考えております。

<p>コロナ対策</p> <p>お誕生会</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 他の園はコロナ対策で保護者の園の出入りは見合わせてと聞きました。玄関で子どもを引き渡す方法はないのですか？(コロナが出たときに濃厚接触者を探すのは大変ではないですか。) お昼ごはん時ソーシャルディスタンスは保てますか？ • コロナ対策→保護者など自由に出入りしているのではまだ不十分だと思う。玄関の受け渡しにするべき！ • 感染症予防のお休み申請の紙は利用者だけに渡してはどうですか、毎月不要なのに渡されてもったいないです。 • コロナ対策で検温するのは良いのですが、体温計の置いてある場所がバーコードリーダーと近いので時間によってはバーコードしたい人と検温したい人が密集してしまう時があるのが気になります。おでこで測れる体温計をもう一台用意したうえで離れた場所でスムーズに検温できるようにしてほしいです。 • お誕生会も一人一人になったのはうれしいですが、親がそのために仕事をお休みして見に行くのも結構大変だなと思います。全体の時は来てくれた方、来ない方バラバラだったので行くよという保護者の方に撮影をお願いできたり、行かなくても子どもの気持ちも他の保護者の方がいたので、大丈夫でしたが、一人なのに来ないのはかわいそうかなと思ってしまったりします。 • お誕生会のことですが、今年からその日を大切にということでクラスごとになりました。ボードに名前を入れてくれることはいいことだと思います。ですが、お誕生会としては、それぞれの子ですると簡易的になってしまうところもあるように感じます。以前のようにホールで皆でしてもらう方が“特別感”“皆にお祝いをしてもらった満足感”があるように思います。 ”ボードに名前“と月ごとに集まって以前のようにおこなってもらえたらなと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> • 玄関での引き渡しを検討しましたが、現状の人員体制では玄関で子どもを受け入れる人員の確保ができません。自粛要請期間中と違い現在は100人もの子どもが生活する園ではお昼ご飯以外の時間でもソーシャルディスタンスを保って生活するのは困難です。 新型コロナウイルス感染症対策については先日からランチルームに飛沫防止パーティションが導入されたほか、さらにホール用の高性能空気清浄機も導入される予定ですが、同じように感染防止対策を取っていた他の園でも感染者が出ていますので、必ずしも感染を防げるわけではないことはご理解いただきたいと思います。 • 警戒ステージが上がり、心配して子どもを休ませる保護者もいます。役場担当とも協議して今後も配布することにしました。 • 体温計を2台にします。 • 昨年までの全体で月1回のお誕生会と今年のお誕生会のやり方にはそれぞれよさや課題があります。以前のお誕生会は月1回のイベント的なお楽しみ会の要素が強いことやお誕生者が欠席してしまうこともありました。また、実際の誕生日と園の誕生会が前後することで1年の中で誕生日が特別な日だという実感のないものになるのも望ましくないと思っています。 私たちは誕生日が1年の中でもかけがえのない特別な日だということに意義を見出して現行のやり方に変えました。ご意見のとおり現行のやり方でも誕生日が土日だったら別日になるなど問題点はありますが、誕生日本来の意義を大事にしたいという園の考え方にご理解をいただきたいと思います。
--------------------------	---	--

※ 沢山のご意見をいただきありがとうございました。アンケートの回収率が55%だったのは残念ですが、ここに意見を寄せられた方々をはじめたくさんの方が園の活動に関心を持って見ていただいていることに改めて感謝申し上げます。

意見や質問の内容によっては「すぐに取り組めるもの」「時間をかけて検討しなければならないもの」「園の方針として理解していただきたいもの」等がありました。価値観が多様化している時代ですから、何事も「賛成」もあり「反対」もあり、「どちらでもよい」と思われている方がいるのが普通だと思っています。

園の運営を全て保護者の多数決で決めるわけではありませんが、「1年だったら疑い、2年だったら見直し、3年だったら捨ててしまえ」という言葉があるように、これからも時代の変化に合わせて常に改善の努力を怠らないよう取り組んでいきます。

